

# 社会福祉系学会連合ニュース（2021年3月号）

## 1. ご挨拶

湯澤 直美（日本社会福祉系学会連合会長）

桜の芽吹く季節を迎えております。東日本大震災の発生から10年が経過し、また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が持続するなか、2021年に迎える春は、「過去—現在—未来」を貫く人々の「いのち」を感じさせるものであるように感じております。いまだ続く激しい余震による被害を受けた皆様にお見舞いを申し上げますとともに、日々、COVID-19に対峙し、医療・保健・福祉等の最前線で尽力されている皆様に、心から感謝申し上げます。

日本社会福祉系学会連合では、2021年に入り、第2回運営委員会を開催し、2020年度の事業報告および決算案、2021年度の事業計画及び予算案を審議致しました。運営委員会の審議のなかでは、日本社会福祉系学会連合という学協会の連合体としての機能を活かすために、2021年度においても、引き続き独自の調査を実施し、学会員の研究活動及び各学会の活動に寄与できる事業を進めていくことが確認されました。今後、調査のご依頼をさせていただくこととなりますが、その節にはご協力のほど、宜しく願い申し上げます。

また、本連合のホームページでは、「[2021年度：加盟学会全国大会・機関誌情報](#)」を更新しております。学会開催にあたっては、COVID-19の状況により予定が変更となる可能性がございますが、各学会の大会開催の取組みは実に多様であり、社会福祉学の学際性という観点からも刺激的な企画となっております。各学会の会員の皆様におかれましては、ぜひ、このホームページ情報を大学院生や学部学生にもお知らせいただき、さまざまな領域、分野への関心を深める一助としていただけますと幸いです。

2021年度も、加盟学会相互の意思疎通を深め、有意義な情報共有を図りながら、諸活動に取り組んでまいり所存です。新学期を迎え、各大学等の教育機関では、感染予防対策を講じながら、学生の教育保障に向けた取り組みを進めておられることと思います。皆様の安全を心より願い、加盟学会のますますの発展を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

\*\*\*\*\*

## 2. 加盟学会の2021年度学術大会日程

本連合では、加盟学会の2021年の学術大会等の情報を集約し、各学会の日程の設定がスムーズに行われるとともに、会員の方々が計画的に学術集会等に参加できるよう努めています。学術大会等の最新情報は加盟学会より情報をいただき次第、本連合のHPに掲載いたします。以下に日程の概要をお知らせいたします。

| 学会名           | 大会情報  |
|---------------|---|
| 社会事業史学会       | <b>社会事業史学会第49回大会</b><br>大会日程：5月14日(金)～16日(日)<br>開催場所・方法：法政大学(※WEB開催)<br>テーマ：近代日本における衛生と社会事業   |
| 日本介護福祉学会      | <b>第29回日本介護福祉学会大会</b><br>大会日程：2021年8月29日(日)<br>開催場所・方法：神戸女子大学(※WEB開催)<br>テーマ：コロナ禍における介護福祉の挑戦  |
| 日本家族療法学会      | <b>一般社団法人日本家族療法学会第38回大会</b><br>大会日程：2021年8月27日(金)～29日(日)<br>開催場所・方法：立正大学品川キャンパス<br>テーマ：マージナリティからの家族療法<br>―ナラティヴのこれまで・ソリューションの今                                |
| 日本看護福祉学会      | <b>第34回日本看護福祉学会学術大会</b><br>大会日程：2021年7月10日(土)～11日(日)<br>開催場所・方法：東都大学(※WEB開催)<br>テーマ：最期までその人らしくいられるための地域包括ケアへの挑戦   |
| 日本キリスト教社会福祉学会 | <b>日本キリスト教社会福祉学会 第61回大会</b><br>大会日程：2021年6月25日(金)～26日(土)<br>開催場所・方法：日本キリスト教団 神戸栄光教会<br>テーマ：危機の中にあるキリスト教社会福祉<br>～この時代の新たな使命と希望～<br>*現地開催とオンライン開催(方法未定)を予定(検討中) |
| 日本子ども家庭福祉学会   | <b>第22回日本子ども家庭福祉学会全国大会</b><br>大会日程：2021年6月5日(土)～6日(日)<br>開催場所・方法：関西大学<br>テーマ：未定   |
| 日本在宅ケア学会      | <b>第26回 日本在宅ケア学会学術集会</b><br>大会日程：2021年8月28日(土)～29日(日)<br>開催場所・方法：広島国際会議場(広島市)<br>テーマ：地域社会が協働で織りなすコミュニティケア   |
| 日本社会福祉学会      | <b>日本社会福祉学会第69回春季大会</b><br>大会日程：2021年5月30日(日)<br>開催場所・方法：WEB開催<br>テーマ：認知症の人々とともに生きる地域共生社会を目指して<br>―認知症ケアとストレングス・アプローチー  |
|               | <b>日本社会福祉学会第69回秋季大会</b><br>大会日程：2021年9月11日(土)～12日(日)<br>開催場所・方法：東北福祉大学 国見キャンパス(宮城県)<br>テーマ：死から生を見つめる福祉  |

|                    |  |
|--------------------|--|
| 日本司法福祉学会           | 詳細は学会 HP をご覧ください→ <a href="https://jslfss.org/">https://jslfss.org/</a>  |
| 日本社会福祉教育学会         | <b>日本社会福祉教育学会第 17 回大会</b><br>大会日程：2021 年 6 月 19 日(土)-20 日(日)<br>開催場所・方法：WEB 開催<br>テーマ：社会福祉分野における ICT 活用教育の課題と展望<br>—ウィズ/アフターコロナ時代の社会福祉教育を考える—                              |
| 日本社会分析学会           | 詳細は学会 HP をご覧ください→ <a href="http://jsasa.org/index.cgi">http://jsasa.org/index.cgi</a>  |
| 日本職業リハビリテーション学会    | <b>日本職業リハビリテーション学会第 48 回愛知大会</b><br>大会日程：2021 年 8 月 27 日(金)-28 日(土)<br>開催方法・場所：オンラインとオンデマンドを組合せて開催予定<br>テーマ：職業リハビリテーションの視点で真の働き方改革を考える<br>～これからの 10 年を目指して～                |
| 日本精神障害者リハビリテーション学会 | <b>日本精神障害者リハビリテーション学会 第 28 回愛知大会</b><br>大会日程：2021 年 12 月 11 日(土)-12 日(日)<br>開催場所・方法：愛知医科大学<br>テーマ：異障害コミュニケーション   |
| 日本ソーシャルワーク学会       | 詳細は学会 HP をご覧ください→ <a href="http://www.jsssw.org/">http://www.jsssw.org/</a>  |
| 日本地域福祉学会           | <b>日本地域福祉学会第 35 回大会(愛知大会)</b><br>大会日程：2021 年 6 月 12 日(土)-13 日(日)<br>開催場所・方法：東海市芸術劇場、<br>日本福祉大学東海キャンパス(愛知県)<br>※参集が困難な場合は WEB 開催(Zoom)<br>テーマ：地域福祉の実践・政策運営の質を高める研究活動のあり方を問う |
| 日本福祉介護情報学会         | <b>日本福祉介護情報学会第 22 回研究大会</b><br>大会日程：未定・検討中<br>開催場所・方法：未定・検討中<br>テーマ：未定・検討中   |
| 日本福祉教育・ボランティア学習学会  | 詳細は学会 HP をご覧ください→ <a href="http://www.jaass.jp/">http://www.jaass.jp/</a>  |
| 日本福祉文化学会           | <b>日本福祉文化学会第 31 回全国大会《沖縄》</b><br>大会日程：2021 年 2 月 27 日(土)<br>開催場所・補法：那覇セントラルホテル(WEB・現地の併用開催)<br>テーマ：福祉文化がつなぐ沖縄の多様性  |
| 日本仏教社会福祉学会         | 詳細は学会 HP をご覧ください→ <a href="http://jaswas.wdc-jp.com/~jabsws/">http://jaswas.wdc-jp.com/~jabsws/</a>  |
| 日本保育ソーシャルワーク学会     | <b>日本保育ソーシャルワーク学会 第 7 回研究大会(愛知・豊橋大会)</b><br>大会日程：9 月中旬頃(仮)<br>開催場所・方法：愛知県<br>テーマ：未定(WEB 開催等開催方法も含めて検討中)  |
| 日本保健医療社会福祉学会       | 詳細は学会 HP をご覧ください→ <a href="http://jsswh.umin.jp/">http://jsswh.umin.jp/</a>  |
| 日本保健福祉学会           | 詳細は学会 HP をご覧ください→ <a href="http://hwelfare.umin.jp/">http://hwelfare.umin.jp/</a>  |

※なお、上記は 2021 年 3 月時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の拡大等により、予定が変更となる可能性がございますので、詳細は随時各学会 HP をご覧ください。また、現地大会へご参加の際は、感染予防対策へのご協力をお願いします。

\*\*\*\*\*

### 3. 加盟学会紹介(日本家族療法学会、日本福祉教育・ボランティア学習学会)

社会福祉系学会連合には、現在 22 の関連学会が加盟しています。本ニュースでは、順次、加盟学会の会員の方から当該学会の近年の動向を含めた紹介をしていただきます。今回は、日本家族療法学会、日本福祉教育・ボランティア学習学会について紹介させていただきます。

#### ●日本家族療法学会●

安達 映子(日本家族療法学会)

日本家族療法学会は、1984年に「日本家族研究・家族療法学会」として設立され、その後2018年に「一般社団法人日本家族療法学会」として認可されました。現在会員数は1000人に及び、年1回の学術集会、3回の学会誌の発行、家族療法基礎講座の開講などを中心に活動を続けています。30年余の歴史のなかでは、家族療法セミナー、海外講師招聘による講演・ワークショップなども多く開催され、家族臨床および研究の深化に努めてきました。2011年からは家族支援・家族療法の社会的ニーズに対応する人材要請に向けて、学会認定ファミリーセラピストならびに学会認定スーパーヴァイザーの認定資格制度もスタートさせています。

本学会の大きな特徴は、家族にかかわる多様な領域と職種の会員が集まり、相互研鑽する場となっていることです。家族療法の日本への導入の経緯もあり、精神科領域を中心とする医療分野、また心理職がこれまで学会の中で果たしてきた役割は大きなものがありました。とはいえ、それにとどまらず、今あらゆるヒューマンサービスにおいて、家族という文脈は外すことのできないターゲットでありリソースです。教育や司法の場においても、家族全体を視野にいったアプローチが欠かせないものであることは、共通の認識となっています。

なかでも、ソーシャルワークは、その職務と役割において、家族支援の視点、それを実践のなかで具体化する方法を必要とする領域です。家族間暴力や貧困、高齢者介護などをはじめとして、社会福祉が取り組まなければならないあらゆるテーマに対し、システム論を基盤とする家族療法の知識、技術は、不可欠なものでしょう。実際に欧米では、家族療法は、なによりソーシャルワーカーのための方法論であることも、周知の通りです。

家族療法の展開形ないし延長線上にあって、ソーシャルワークとのより一層の結びつきが期待される「解決志向アプローチ」や「ナラティブ・アプローチ」など、進化する認識論とその実践を日本に紹介し、主要なテーマとして取り上げ続けてきたのも本学会でした。今年度も「マージナリティからの家族療法—ナラティブのこれまで・ソリューションの今」のテーマのもと大会開催が予定されています。今後も多くの支援専門職の関心を喚起し、参画いただけるよう、学会運営に取り組んでいきたいと考えています。

日本家族療法学会ホームページ

<https://www.jaft.org/>

## ●日本福祉教育・ボランティア学習学会●

野尻 紀恵(日本福祉教育・ボランティア学習学会)

本学会は、福祉教育・ボランティア学習について、さまざまな立場で活動・研究している関係者が一堂に会し、その価値や領域、推進方法や評価について学際的・実践的な研究をしていくために、1995年に設立されました。広義の「ふくし」つまり「ふだんのくらしのしあわせ」を多様な一人ひとりが実現できるようにすること、そして市民社会を形成し、共生の文化を育むことをめざしています。

具体的な活動の一つは、学会による「課題別研究」です。現在は、①「介護等体験」の教員養成における現状と学びとしての課題～若者への福祉教育・ボランティア学習のあり方を検討するために～、②多文化共生とボランティアリズム、③with コロナ社会の福祉教育・ボランティア学習の価値と実践の問い直し、の3つの「課題別研究」を進行させています。年に1回の学術大会は開催地域で実行委員会を立ち上げ、地域の特色も活かしながら開催しています。また、学会誌『日本福祉教育・ボランティア学習研究紀要』を年2回、学会ニュースを年3回、本学会監修による情報誌『ふくしと教育』を年2回発行しています。

設立からの10年間は、激しい福祉改革、教育改革の流れを検証・分析し、その中で福祉教育・ボランティア学習の実践が果たしてきた役割を明示するとともに、批判的に論じてきました。次の10年間も様々な制度や社会的環境の変化があり、実践者と研究者の協働による学会活動を模索し続けてきました。2014年には20周年記念誌『福祉教育・ボランティア学習の新機軸—学際性と変革性—』を刊行し、本学会が何を対象に研究し、何のために、どのような方法でその研究を確かめてきたのかについて、本質的課題論文とそれに対応した解題論文によって、研究・実践の到達点を示しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症によって世の中では、感染予防か、経済活動の再開かといった議論が盛んになされています。私たちの社会が分断されないよう、福祉教育・ボランティア学習に「何」ができるのかを考え続けています。多様な議論を包含する学会としてのありようを軸とし、福祉社会の具現化に寄与できるよう、福祉教育・ボランティア学習が重視したい価値や、目的を追求する実践者と研究者が共に協力して学会活動の充実を図っていきます。

日本福祉教育・ボランティア学習学会ホームページ

<http://www.jaass.jp/>

\*\*\*\*\*

#### 4. 2021 年度補助金制度のご案内

2017 年度に創設された補助金制度を 2021 年度も実施いたします。なお、2021 年度は 2020 年度に引き続き新型コロナウイルス(COVID-19)の流行の影響を避けられないことから、補助の対象を講師(非会員)の旅費に限定せず、「必要となる経費の一部」に拡大いたします。詳細につきましては日本社会福祉系学会連合 HP の下記ページをご覧ください。

→ <http://jaswas.wdc-jp.com/about/subsidy.html>

\*\*\*\*\*

#### 5. 加盟学会一覧

社会事業史学会 日本保健医療社会福祉学会 日本介護福祉学会 日本家族療法学会  
日本看護福祉学会 日本キリスト教社会福祉学会 日本子ども家庭福祉学会  
日本在宅ケア学会 日本司法福祉学会 日本社会福祉学会 日本社会福祉教育学会  
日本社会分析学会 日本職業リハビリテーション学会 日本精神障害者リハビリテーション学会  
日本ソーシャルワーク学会 日本地域福祉学会 日本福祉介護情報学会  
日本福祉教育・ボランティア学習学会 日本福祉文化学会 日本仏教社会福祉学会  
日本保育ソーシャルワーク学会 日本保健福祉学会

日本社会福祉系学会連合事務局  
日本社会福祉学会事務局内  
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5  
アカデミーセンター  
TEL:03(6824)9385 FAX:03(5227)8631  
Mail: union-jssw@kokusaibunken.jp  
<http://jaswas.wdc-jp.com>

## 日本社会福祉系学会連合補助金制度要項

2017年5月28日

1. 日本社会福祉系学会連合の加盟学会が活性化することを目的とし、毎年6月1日～翌年5月31日の期間において、外部の専門家（非会員）に講演等を依頼する場合の旅費の一部を補助する。
2. 補助の対象となる講演等の開催にあたっては、大会、シンポジウム、研修会等とし、補助金の額は、一回5万円を限度とする。
3. 補助金の申請を希望する学会は、所定の「日本社会福祉系学会連合補助申請書」に必要事項を記入し、『大会等プログラム』あるいは『大会等プログラム』（案）※を添えて、当学会連合事務局宛に提出し申し込む。
4. 補助金を受ける学会は毎年5学会を限度とする。
5. 補助金を受ける学会の選定および補助金額は、講演内容や補助を受けた回数などを勘案して、運営委員会で協議し決定する。
6. 補助金を受けることが決まった学会は、「日本社会福祉系学会連合旅費精算書」を領収書と共に当学会連合事務局宛に提出する。
7. 当学会連合事務局は受理した「旅費精算書」を確認した後、速やかに当該学会が指定する口座に補助金を振り込む。
8. 補助金を受けた学会は、大会等の開催後に報告書（報告記事）を提出し、学会連合の広報媒体に掲載、掲示について承諾するものとする。
9. 本制度は単年度制度であり、毎年総会前に開催される運営委員会において、決算状況に鑑みて次年度実施の可否を決定する。
10. この要項を変更するときは、総会の議決を経なければならない。

※募集期間に大会が行われた場合は『大会等プログラム』を、募集期間後に大会等が行われる場合は、『大会等プログラム』（案）を提出してください。

年 月 日

## 日本社会福祉系学会連合補助申請書

|         |   |
|---------|---|
| 学 会 名   |   |
| 代 表 者 名 |   |
| 大会等日時   |   |
| 場 所     |   |
| 目 的     |   |
| 申 請 額   | 円 |
| 申請額の根拠  |   |

\*大会等プログラム（案）を添えて、ご申請ください。

申請学会名

学会印

代表者名

印

連絡先（ご担当者名

）

連絡先住所

TEL :

e-mail :